



熊事研会報

第 135 号

熊本県学校事務研究協議会
発行人：会長 宮崎 文子
編集代表：研究部長 平野 哲也

～目次～

○ 会長あいさつ ○ 地区研の紹介 ○ 2020年度事務局・研究部 新入部員紹介

会長あいさつ

熊本県学校事務研究協議会 会長 宮崎 文子

新年が明けた頃から新型コロナウイルスの話題がではじめ、2月27日安倍首相より突然の休校要請にはじまり、4月16日、政府は特別措置法に基づく緊急事態宣言を全都道府県に拡大しました。5月25日の緊急事態宣言解除後、徐々に学校もはじまりコロナウイルス感染予防の視点を持っての新しい生活様式で過ごすなか、7月上旬の九州地区の豪雨災害。なかでも熊本県での被害は大きく、多くの方の命が奪われました。学校も校舎自体が被害を受けたり、また避難場所になったりと、せっかく再開し軌道に乗ってきた矢先に休校を余儀なくされたところもありました。復興に向けてまだスタートをきったばかり、長い道のりです。

熊本県学校事務研究協議会（以下 熊事研）では第44回大会の第1分科会に兵庫県教育委員会 震災・学校支援チーム（EARTH）松本 亨氏を講師に迎えて「学校事務職員として防災を考える」というタイトルで分科会を行いました。第1分科会の対象者は経験年数1～10年の学校事務職員で、研究部で講師を選定するときに、ぜひ防災の観点でとお願いした講師でした。全国的に見ても、阪神淡路大震災、東日本大震災と大きな災害が続き、熊本県も平成28年に熊本地震を経験しました。あれからまだ4年しか経っていないのに、また熊本県で大きな自然災害が起きました。学校という公の場所で働く私達にとって、災害に備えるのは重要な課題です。子どもたちの学力保障は勿論のこと、被災した状況のなかで学校生活が再開することが子どもたちにとって少しでも日常を取り戻すこととなり、心のよりどころになると思います。どこでいつどのような災害が起こるかわかりません。起こったことに対し臨機応変に対応できる力が試されるとと思います。新型コロナウイルス感染症対策についても、まだ出口は見えていません。子どもたち、教職員の安全のためにいろいろな難問と直面し、知恵を出し合いながら葛藤を続けている学校事務職員も多いことと思います。

自分の事を書くのは恐縮ですが、年齢的にも体力的にもどれだけ現地の役に立つか自信はありませんでしたが、人吉市内に復興災害ボランティアに行った時のことです。高速に乗り、出口での渋滞に備え山江サービスエリアでトイレを済まそうと寄ったところ、そこにたくさんの人々。みんな長靴を履き作業のできる服装です。家族・親戚のため、またはボランティアとして地域に赴く方々であふれかえっていました。その光景を見て本当に胸が熱くなりました。人を支えるのは人なのだと思います。コロナウイルス感染症対策、そして豪雨災害。学校事務職員として仕事をしていくなかで、会員の皆様は心身ともに健康を保っていますか？無理し過ぎないでください。倒れてしまっは元も子もありません。心身ともにタフでありたいものです。そのために周りの人と支え合い、うまくリフレッシュしながら難しい局面を乗り切っていきましょう。

こうした社会情勢のなか、熊事研としましても、私達の学びの場である研究大会をどのように運営していくか、学校事務職員のスキルアップのためにどのような内容を提供していくのか、工夫を迫られています。1月の大会に向けて現在検討中ですが、ご意見ご要望など、各地区理事を通していつでもお寄せください。

最後になりましたが、この度の九州豪雨災害で亡くなられた方々のご冥福をお祈りしますとともに、被災されました地区の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

地区研の紹介

各地区研の構成や研修内容などを Q&A 方式でお答えいただきました。ほかの地区研がどのような研修をしているか、是非、参考にしてみてください。地区研がより充実したものになるよう、互いに高めあっていきましょう！

- ① 地区研の名称
- ② 会員数
- ③ 研修会（研究会）の年間回数
- ④ 地区研の特徴
- ⑤ 今年度の研究テーマ、研究内容、研究の構想及びグループ研の構成

- ① 荒尾・玉名地区学校事務研究協議会
- ② 58名
- ③ 研修会・・・6・8・10・2月の年4回
総会・・・6・2月の研修会と同日の年2回
- ④ 30歳代以下は68%を占め、若者が多い地区になります。
また、現任校への在籍年が3年以下は76%を占め、最近では短いスパンでの異動が多いようです。
- ⑤ 初任者向けテキストをメインとした事務職1年目（1）、2年目（2）の若手への研修班
（3）演習問題作成班
（4）学校徴収金徴収方法調査班（管内の給食費を含む学校徴収金の徴収方法を調べる）
（5）学校徴収金口座引き落とし調査班（口座引き落としの種類、方法、導入経緯を調べる）
（6）生命保険、介護医療保険勉強班
以上6グループで研修を行う予定でした。
また、管内に統廃合した学校が2校、南関町には事務センターが設置され加配もつきましたのでそれらの情報共有ができたかと考えていました。
- ⑥ このコロナウイルスの影響で、先日身近な企業でクラスターが発生したことから、今年度の会の運営が厳しくなっています。
また、役員会・研修部会も1回も開くことができずに現在に至ります。
年度末にはこの緊急事態も収束し、3月の最後だけでも久しぶりに会の皆さんにお会いすることができればと思っております。

- ① 山鹿市公立学校事務職員研究会
- ② 19人
- ③ 5回
- ④ 1つの市で成り立っているため構成員がセンターと地区研で変わりがない。
- ⑤ 『他の機関(市教委等)との交流・連携』をテーマに、感染症対策や出前研修、事務センター視察等を計画。事務センターと構成員が同じなので、事務センターの時間も活用しながら、構成員同士の連携も深めていく。
- ⑥ 1つの市で成り立っており、人数が少ないため、情報が少ない状況にある。今後の展望としては、積極的に他の市町村と情報交換をしていきたい。



- ① 阿蘇郡市教育研究会学校事務職員部会
- ② 30名（女24名、男6名）いよいよ男性の肩身が狭くなってきました…。
- ③ 例年は3回（5月、9月、1月すべて終日）
- ④ 今年はコロナ対応により、9月半日、1月半日の2回を予定。
現時点で唯一、義務教育学校（産山、高森東）のある地区で、共同実施がない市町村もあり、事務組織も多種多様です。世界の阿蘇五岳を中心に7市町村それぞれの特色も際立っています。
- ⑤ 研究テーマ：『交流の中で想像力を広げよう』
今年は、新型コロナウイルス対応の情報交換や学校のICT化に関連した研修や講演（全体研修のみ）を予定しています。
昨年度の全体研修では、「学校マネジメント～『チーム学校』の具現化に向けて～」や、「学校における防災体制～防災から心のケアまで～」について、県立教育センターより講師を招聘し、実践を交えた、とても楽しく分かりやすい研修を行うことができました。
また、分科会研修も3つに分かれ、それぞれの領域「学校経営と学校事務」「事務改善」「実務研修」において、活発な研修が行われました。それぞれが主体的に研修に関わり、充実した研修を行うことができています。
- ⑥ どこの地区も傾向としてあるかと思いますが、ベテラン勢は阿蘇にとどまっているのに対し、若い人は入れ替わりが激しく、研修の内容がマンネリ化しがちです。そんな中、様々な年代・経験から生まれる価値観の違いを研修に生かし、新しい視点でチャレンジしています。研究主題のとおり、お互いに交流・発信する中でお互いを理解しながら、新しい事務職員像を模索中です。

- ① 上益城郡学校事務職員研究会
- ② 36名
- ③ 年間6回（4・6・8・10・12・2月）、研修会を行っています。
今年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4～10月は中止しました。（12月以降の研修会実施の有無については検討中です）
- ④ 研修・研究の充実に努めています。具体的には、年に6回、外部講師等を招聘した全体研修と、年度毎に設定した研究テーマに沿ったグループ研修を実施しています。（※今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止により変更した点もあります）
- ⑤ 研究テーマ：「変革の時代に対応する学校事務の創造 ～上益城の子どもの豊かな育ちを支援する学校事務～」
研究内容、研究の構想：地区研の強みである管内他町との情報交換の場でもあることを最大限に生かすために、今年度構想図を作成しました。研修内容は「財務」、「情報」、「企画調整」、「給与・旅費・共済」、「基礎基本」、「研修部」の6グループで構成しています。研修した内容は、地区研の年度末に行う各グループからの報告だけではなく、毎回共同実施等で共有することにしています。
- ⑥ 採用形態が教育行政・教育事務に変わり、県立学校及び行政への異動が活発に行われるようになりました。
ベテランの事務職員を含め、新規採用者や初めて小中学校に異動された事務職員が、円滑に業務を行うことができるよう、研修等の充実に努めていきたいと思っています。

- ① 菊池郡市公立学校事務職員会
- ② 59名
- ③ 従来：6回（うち終日は1回） *今年度は未定*
- ④ 『菊池郡市教科等研究会事務部会』と『菊池郡市事務担当者会』の2つの組織で会が構成されているため、研修の機会を多く設けることができている。各会の研修の目的や意義を活かしたタイムリーな内容を研修委員が中心となり計画している。（例年9月には『防災』をテーマとした研修を組む など）
- ⑤ 今年度は予定どおりに研修が持てず、従来のキャリアに応じたグループ研修ができていない。実務研修や講演等の一斉研修の形で少しでも個の職務向上に寄与したい。
- ⑥ 『教育行政』での採用職員が占める割合が増えてきた。行政・県立を見据えた研修も今後は必要となると思う。

- ① 八代郡市学校事務職員会
- ② 50名
- ③ 例年は4回（4月、8月、11月、1月）※今年度は未定
- ④ 例年は6回程度のグループ研修及び共同実施が活発で、実際の事務処理の中で経験した特殊事例や疑問点等についてみんなで共有し、解決できる体制づくりに努めています。
- ⑤ 今年度は未定ですが、例年、全体研ではミニパネルディスカッションや出前講座、組織マネジメント研・グループ討議、市役所講座、共済組合講座等を実施しています。また、グループ研修は共同実施を組み合わせたグループ及び事務センターで編制し、計5グループで研修を行っています。
- ⑥ 今年度は、全体研及びグループ研ができていない状況です。新型コロナウイルスが終息した後に活動を再開できればと考えています。

- ① 水俣芦北学校事務職員会
- ② 22名
- ③ 年5回
（ただし、今年度の第1回研修会は、コロナウイルス感染症拡大防止措置のため中止しました）
- ④ 圧倒的に女性が多いです（笑）
少人数の会なので、皆で和気あいあいと研修しています！
- ⑤ 研究テーマ…「学校事務をつかさどるためのスキルを身に付けよう」
研究内容…“つかさどるための様々なスキル”を身に付けるべく、これまでは様々なジャンルから外部講師を招いたり、グループ討議、実務事例の報告などを行ってきました。しかし今年度に至っては、コロナウイルス感染症への対策や7月豪雨による被害を受け、先が見通せないところもあり、その都度その都度、必要とするタイムリーな研修ができれば…、と考えています。
- ⑥ 少ない会員数ゆえの悩み…役員確保の問題、各市町のそれぞれの事務センターや共同実施、事務職員会で行う研修との兼ね合い etc…、この水俣芦北学校事務職員会でしかできない・会員にとって充実した研修会にするにはどうすべきか、会の在り方をしっかり考えていく時期を迎えています。

- ① 宇城学校事務職員会
- ② 39名
- ③ 3回
- ④ 宇城地区は熊本県のほぼ中央に位置しています。観光・グルメに恵まれていて東は山から西は有明海まで風光明媚！日本一の石段・恵まれた自然の景観を活かしたフットパスのコース・世界文化遺産に登録された三角西港・旧暦8月1日に有明海に現れる不知火。そしてデコポンや梨・マンゴーなどの美味しいフルーツや綺麗な洋蘭も学校の玄関で皆さんをお出迎え!(^^)! 交通の便も良いのでぜひ町巡りをしてみませんか！

- ⑤ 研究テーマ 「学校教育目標達成のために組織において機能する学校事務」
～子どもの豊かな育ちを支援する宇城事務研～

研究の構想 昨年度までの熊本版グランドデザイン（意識変革）をふまえ、本年度は、アクションプラン（行動変革）により具体的に行動を起こすべく研修を行う。

子どもの豊かな育ちを支援するために「財務と教育課程をつなぐ」「地域と学校をつなぐ」ことで学校経営の一翼を担い、組織において機能するために研修をすすめる。宇城事務研での「機能＝つなぐ」とし、行政機関や外部組織、地域をつなぐ役割を果たす事とします。各グループ研においては、今何ができているのか？何をやらないといけないのか？を具体的な行動として研修してほしいと考えます。

グループ研の構成 宇土市 13名 宇城市 21名 美里町 5名

- ⑥ 【会の課題】宇土市・宇城市・美里町と二市一町にまたがり、コロナウイルス感染予防対策のため宇城学校事務職員会としての研修会が一度も開催されておらず、現時点での会の課題は見えてきていない。グループ研によってはリモート研修会を行うなど有事の際にも対応できる環境が整っているところもあるが、宇城管内全体としてそのような設備が整っていないため今年度は今後も研修会を開催せず、紙面報告等でグループ研の研修成果を会員へ報告していくことが決まっている。

【今後の展望】今回、コロナウイルス対応のため、衛生関係予算、施設関係予算、行事が中止になることによる各種関連予算、給食費等々の調整などで市町教育委員会、各種業者、給食センター等と連携して対応していくことの重要性が浮き彫りになった。対組織であることと、コロナウイルス対応策を早急に講じる必要があったため、個々に対応しては追いつかず、各学校が地区ごとに組織としてまとまって連携をとっていく必要があった。災い転じて福となす、ではないが、今回のような有事の際に行政機関や外部組織、地域をつなぐ役割を果たすのが事務職員であることが具現化されたのではないだろうか。今後は、課題解決のために諸機関とどのような連携をし、その結果成果が上がったことや新たにうまれた課題等具体的な機能について研修できれば、と考える。

- ① 人吉球磨事務職員会
- ② 42名
- ③ 4回（今年度は中止の予定）
- ④ 1市4町5村の41小中学校（事務センター1・共同実施10）で構成されています。
- ⑤ 専門的な知識と教養を高めるといふ努力目標のもと、実務研修・スキルアップ研修・キャリア別研修・地域を知る研修を行っています。例年、学校予算調査と特殊事例を収集し、共有を図っています。
- ⑥ 新規採用・再配置者の異動で若手事務職員の入替わりが激しく、先を見通しての研修が難しい状況です。また、本年度は研修会の開催は厳しいため個人での研究を推進していきたいと考えています。

- ① 天草郡市小中学校事務職員会
- ② 54 名
- ③ 2 回（全会員参加分）
- ④ 天草郡市は平成の市町村合併によりは 2 市 13 町から 2 市 1 町となりました。また、小中学校の数も少子化のため最大時の 1/3 程度になるなど右肩下がりに人口が減少している少子高齢化地区です。小中学生の数も毎年度 100 人を超える減少が続いていますので、多くの学校が小規模校化の傾向にあります。
- ⑤ 事務職員会主催の事務職員研修会（6 月）と天草教育研究所主催の事務研究大会（2 月）を主な事業としている。
研究テーマ等については、会としての研究の取組みはしていないが、2 月の研究大会において担当地区による研究発表を行っている。
- ⑥ 昨年度、学校の統廃合による会員数の減少とジョブ・ローテーションによる会員の年齢構成の変化への対応、加えて役員の負担軽減を図ることを目的として会の運営組織の見直しを行うことを決定しました。
今年度は、運営業務の役割分担を検討した上で事業を実施し、評価と反省を経て、さらなる改善へとつなげる重要な年となるはずでした。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により研修会等の事業を中止せざるを得なくなり、評価等ができない状況のため、円滑な事業運営のための準備期間と考えて取り組みたいと思います。新型コロナウイルスの一刻も早い終息を願っています。

各地区理事の皆様には、お忙しい中、アンケートへのご協力たいへんお世話になりました。ありがとうございました。

2020 年度事務局・研究部 新入部員紹介

2020 年度事務局・研究部に計 13 名の新入部員が入りました。Q&A 方式による自己紹介です。これから 1 年間、よろしくお願いします！

- ① 現役職と氏名（ふりがな）
- ② 現所属校
- ③ 現在、事務局員・研究部員として担当している業務
- ④ 最後にひとこと、意気込みを！

【事務局】

- ① 事務局 藤川 朋子（ふじかわ ともこ）
- ② 熊本市立小島小学校
- ③ 会計（一般会計）
- ④ 歳はとってもわからないことだらけです。まわりの方々に頼りっぱなしですが、せっかくの機会なので勉強させていただきたいと思います。よろしくお願いします。

- ① 事務局 緒方 美和（おがた みわ）
- ② 熊本市立豊田小学校
- ③ 会計
- ④ 足手まといにならないよう努めたいと思います。よろしくお願いします。

- ① 事務局 城戸 康幸（きど やすゆき）
- ② 玉名市立玉陵中学校
- ③ 総務
- ④ 7月豪雨で被災された方々に一日でも早く平穏が戻りますようお願い申し上げます。至らない点も多く、事務局をはじめ色々な先生方に伺いながらフォローしていただきながら取り組んでいます。本県学校教育の発展のため少しでもお役に立てるよう頑張っていきたいと思います。

【研究部】

- ① 研究部 水本 利奈（みずもと りな）
- ② 山鹿市立鹿北中学校
- ③ 情報調査班
- ④ 今年度から情報調査班の一員となりました。主に事務必携の編集・発行に携わらせていただきます。県の研究部は初めてなので、普段は見るできない運営する側のお仕事を学びたいと思います。よろしくお願いいたします！

- ① 研究部 伊賀上 大起（いがうえ たいき）
- ② 錦町立木上小学校
- ③ 研究班
- ④ 1年半ぶりに研究部に帰ってきました。再出発で頑張ります。

- ① 研究部 内田 知美（うちだ ともみ）
- ② 長洲町立長洲中学校
- ③ 研究班
- ④ 微力ながら貢献できるよう頑張ります！

- ① 研究部 金柿 潤平（かながき じゅんぺい）
- ② 山鹿市立鹿本中学校
- ③ 研修班
- ④ はじめまして。今年度から熊事研の研究部員となりました、金柿です。分からないことが多いですが少しでも力になれるよう努めていきます。よろしくお願いいたします。

- ① 研究部 有高 美希（ありたか みき）
- ② 菊池市立旭志中学校
- ③ 研究班
- ④ 熊本版グランドデザインについて研究しています。初めての研究部で分からないことだらけですが、少しでも皆さんのお役に立てるよう頑張ります。よろしくお願いいたします。

- ① 研究部 山内 京介（やまうち きょうすけ）
- ② 熊本市立御幸小学校
- ③ 研究班
- ④ 熊本版グランドデザインの研究をしています。初めての研究部でわからないことばかりですが、精一杯務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

- ① 研究部 枝川 雛子（えだがわ ひなこ）
- ② 高森町立高森中学校
- ③ 研修班
- ④ 熊事研大会の分科会内容の検討を行っています。多面的視点から研究し、どのキャリアであっても深い内容の分科会となるよう研究部員の一員として協力できればと思います。よろしくお願いします。

- ① 研究部 林田 真奈（はやしだ まな）
- ② 水俣市立葛渡小学校
- ③ 研修班
- ④ 今回、初めて研究部に携わらせていただき、とても緊張している反面、貴重な機会をいただけたことを嬉しく思います。多くのことを学び、研究部員としても事務職員としても成長できる1年間となるよう頑張ります。よろしくお願いいたします。

- ① 研究部 松下 大地（まつした だいち）
- ② 上天草市立中北小学校
- ③ 情報調査班
- ④ 熊事研HPの運営、全事研調査報告を担当しています。一つ一つ勉強させていただきながら、少しでも皆様のお役に立てるよう頑張っていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします！！

- ① 研究部 池田 野々（いけだ のの）
- ② 八代市立太田郷小学校
- ③ 情報調査班
- ④ 会報の作成や学校事務必携の会計を担当しています。分からないことばかりですが、一つ一つ勉強させていただきながら少しでもお役に立てるよう頑張っていきたいと思います。よろしくお願いします！

あとがき

夏休みも終わり、2学期あるいは前期後半へと突入しました。例年より短い夏休みだったかと思いますが、いかがでしたか。新型コロナウイルスも未だに予断を許さない状況が続いており、学校現場も多忙を極めていることと思います。そんな中、会報作成に係る寄稿等感謝申し上げます。会員の皆様へタイムリーな会報をお届けしていけるよう努めてまいりますので、載せてほしい記事等あればお近くの研究部員までお知らせください。

また、研究部では各組織及び学校や個人で、新型コロナウイルス感染症予防にどのような対策をとられているのか、熊本県豪雨災害を経験された学校事務職員が学校再開に向けて苦労されたことや避難所運営等に関する対策など、会員の情報を集約したいと考えています。まだまだ、新型コロナウイルス対策も補助事業に関する予算が措置されたばかりですし、豪雨災害からの復旧も終わりが見えない状態ですが、皆様の情報が今後の熊事研の会員のスキルになります。感染症予防のために工夫した事や組織と連携していること、豪雨災害で備えていて役に立ったことや組織との連携で乗り越えられたことなど、情報をお寄せいただければ幸いです。

熊本県学校事務研究協議会 研究部 情報調査班 会報担当